

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社ヨロズ（証券コード: 7294）

【据置】

長期発行体格付	BBB+
格付の見通し	安定的

■格付事由

- (1) プレス部品を主力とする自動車部品メーカー。売上高の6割強が日産自動車向けで、大半が日系自動車向けである。テーラードブランク工法などの技術力を背景にサスペンションでは国内トップクラスにある。近年はタイ、インド、インドネシア、メキシコ、ブラジル、中国といった新興国を中心に生産能力を増強しており、海外拠点の体制整備に取り組んでいる。
- (2) 足元の業績は伸び悩んでいる。日産以外の顧客基盤拡充や海外拠点の利益貢献において十分な成果を発揮できていない。ただ、課題となっていたテネシー工場（YAT）の生産効率の改善は足元で進捗しつつある。また、アラバマ工場（YAA）は計画通り、生産活動を開始している。日産向けの受注が増加していることも踏まえると中期的な利益は回復に向かう公算が大きい。財務面では高水準の設備投資が継続する計画にある。しかし、投資水準は17/3期でピークアウトしたとみられ、今後の財務諸指標が大幅に悪化する可能性は低い。以上より格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 18/3期営業利益は米州セグメントの赤字拡大やホンダ向け販売減少を背景に55.5億円（前期比12.3%減）と2期連続の減益となったもようである。YATでは離職率の低下やYAAへの生産移管などにより、操業が安定化し、19/3期の損益黒字化が視野に入る一方、YAAは立ち上げ費用の負担がしばらく残る見通しである。このため、営業利益は19/3期に伸び悩む可能性があるものの、20/3期以降改善していくとみられる。
- (4) 18/3期第3四半期末の財務諸指標は自己資本比率47.0%、ネットDER0.3倍と良好な水準にある。高水準の設備投資がしばらく続く計画にあるものの、新拠点の整備や生産能力の増強は一巡している。今後有利子負債が増加した場合でも、自己資本比率40%程度は維持できる可能性が高い。

（担当）上村 暁生・小野 正志

■格付対象

発行体：株式会社ヨロズ

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年3月29日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：上村 暁生
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「自動車・自動車部品」(2012年3月26日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社ヨロズ
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル